



# しおかぜ通信

八代市立郡築小学校  
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R8,4,10 No.1

郡築小ホームページ

## 今年度もよろしくお願ひいたします

爽やかな春風とともに、令和8年度がスタートしました。校長2年目の春を、素直で明るい子供たちが多く通う郡築小学校で迎えられたことを大変嬉しく思います。

昨年度、地域の皆様との対話を通じて、本校がいかに地域に愛され、支えられているかを肌で感じました。本年度は、その「地域の力」をさらに教育活動へ取り入れ、学校と地域が車の両輪となって子供たちを育て「地域と共にある学校づくり」を加速させてまいります。

本年度は、昨年度築いた信頼関係を土台とし、学校経営目標である「自ら学ぶ子供」のさらなる深化を目指します。教職員一丸となり、子供たち一人ひとりが「学校が楽しい」「明日も行きたい」と思える学校づくりに精進してまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。



## ご家庭と地域社会と学校との信頼関係と情報共有を

子供の可能性を引き出す上で、ご家庭と地域社会と学校との信頼関係と情報共有は不可欠だと思います。良いことも悪いことも情報交換できることが一番だと思います。「不審」とか「不満」とかになる前に、「疑問」は必ずお問い合わせください。担任もしくは教頭、校長にお問い合わせください。誠意をもってお応えします。

また、いじめや体罰についても、少しでも気になることはどうぞご遠慮なくお尋ねください。いじめや体罰は、命に関わりますし、不登校となつては教育を受ける権利を奪うという、あってはならないものです。加害者のことを考えましても、根絶しなくてはならないと考えております。

そういう信頼関係と情報共有がなされた上で、学校では「お家の方のおっしゃることを聞きなさい。」と指導します。教育の出発点でもあるご家庭で、お子様の将来を見据えたしつけを愛情をもって行っていただきたいと思ひます。ご家庭では「先生の言われることを聞きなさい。」とおっしゃっていただければ幸いです。

## 学校教育目標「自ら学ぶ子供」について

校訓「やさしい子 考える子 たくましい子」のもと、学校教育目標を「自ら学ぶ子供」と定めています。

現在、グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新の急速な進展や未知なる感染症の流行などにより、予測困難な時代と言われています。こうした社会の中を生き抜くためには、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力」が必要とされています。

本校では、各教科等の学びの中で、習得した資質・能力を活用して、課題解決に生かす場面を効果的に設定し、学校総体で「自ら学ぶ子供」を育てていこうと考えています。

この学校教育目標「自ら学ぶ子供」は、簡単に覚えられる短いフレーズですので、保護者の皆様にも地域の皆様にも覚えていただき、具現化に向けそれぞれの立場からアプローチしていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



### 【自ら学ぶ子供を育てるためには、「教えすぎず、見守る」姿勢が重要です】

具体的には「どう思う?」「次はどうする?」といったオープンクエスチョン(「はい、いいえ」で答えられない、相手が自由に話せる質問形式)で思考を促し、結果のみではなく、過程の努力を認め、肯定的な言葉(「できるね」「頑張ったね」)を日常的にかけることが効果的です。